

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

住之江公園店及び和歌山店における
売場空調機器更新による省エネ事業

排出削減事業者名：日本トイザラス株式会社

排出削減事業共同実施者名：環境経済株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	日本トイザラス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名①	トイザラス 住之江公園店
住所①	大阪府大阪市住之江区南加賀屋 2-3-23
事業所名②	トイザラス 和歌山店
住所②	和歌山県和歌山市中野字長左 31-1 パームシティ和歌山 1F
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

住之江公園店及び和歌山店における売場空調機器更新による省エネ事業

2.2 排出削減事業の目的

売場内の空調機器（住之江公園店のガスヒートポンプ（GHP）及び和歌山店の吸収式冷温水発生機）を機器効率の良い機器へ更新し省エネルギー並びに CO2 排出削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存空調機器を高効率のガスヒートポンプ及び吸収式冷温水発生機に更新することにより、機器効率を改善してエネルギー消費量を削減、CO2 排出量を削減する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	■はい
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	■はい

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

- ① 排出削減事業者代表者名の変更。
- ② 和歌山店は 2014 年 1 月 13 日に閉店したため、2014 年 1 月 14 日以降はバウンダリー対象外とする。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2008年12月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2016年11月30日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
004	空調設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
空調設備 (住之江公園店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 Nm ³ /年)
		営業時間 (h)
空調設備 (和歌山店)	営業時間 (時間)	事業実施前燃料使用量 (千 Nm ³ /年)
		営業時間 (h)

4.2.2 活動量の採用根拠

以下の理由により、「営業時間」を活動量として採用した。

- ・設備更新の前後で売場面積の広さに変更がなく、空調設備における燃料消費量に最も大きく影響する要因は営業時間と判断できる
- ・営業時間を計測可能である

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業の範囲は、更新される空調設備及び当該空調設備により空調が行われる範囲 (住之江公園店及び和歌山店の売場) である。

5 モニタリング対象指標

①住之江公園店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法	(モニタリング方法に変更ある
				根拠資料	場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房：64.9 暖房：10.1	計測	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量 事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度以降) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2140 暖房：1510	計測	
M-4	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2200 (2014 年度) 2211 (2015 年度) 2202 (2016 年度) 2202 暖房 (2013 年度) 1571 (2014 年度) 1563 (2015 年度) 1559 (2016 年度) 308	計測	
M-5	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t -CO2/GJ	(2013 年度) 0.0517 (2014 年度以降) 0.0517	デフォルト値	
M-6	事業実施後の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房 (2013 年度) 50.1 (2014 年度) 43.8	計測	

			(2015 年度) 44.5 (2016 年度) 59.5 暖房 (2013 年度) 5.0 (2014 年度) 7.0 (2015 年度) 6.2 (2016 年度) 1.3		
--	--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

②和歌山店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法	(モニタリング方法に変更あ
				根拠資料	る場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房：34.2 暖房：15.0	計測	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量 事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0	デフォルト値	
M-3	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2140 暖房：1510	計測	
M-4	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2140 暖房 (2013 年度) 754	計測	
M-5	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t -CO2/GJ	(2013 年度) 0.0517	デフォルト値	
M-6	事業実施後の燃料使用量	千 Nm3/年	冷房 (2013 年度) 26.3 暖房 (2013 年度) 4.0	計測	

7 排出削減量の計算

7.1 住之江公園店

7.1.1 事業実施後排出量

	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm3]	単位発熱量 [GJ/千 Nm3]	排出係数 [t-CO2/GJ]	CO2 排出量 [t-CO2]
冷房 (2013 年度)	2,140	50.1	44.0	0.0517	114
冷房 (2014 年度)	2,140	43.8	46.4	0.0517	105.1
冷房 (2015 年度)	2,140	44.5	46.4	0.0517	106.8
冷房 (2016 年度)	2,140	59.5	46.4	0.0517	142.7
暖房 (2013 年度)	1,510	5.0	44.0	0.0517	11.4
暖房 (2014 年度)	1,510	7.0	46.4	0.0517	16.8
暖房 (2015 年度)	1,510	6.2	46.4	0.0517	14.9
暖房 (2016 年度)	1,510	1.3	46.4	0.0517	3.1
EMPj	2,140	217.4			514.8

7.1.2 ベースライン排出量

	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm3]	単位発熱量 [GJ/千 Nm3]	排出係数 [t-CO2/GJ]	CO2 排出量 [t-CO2]
冷房 (2013 年度)	2,200	66.7	44.0	0.0517	151.7
冷房 (2014 年度)	2,211	67.1	46.4	0.0517	161.0
冷房 (2015 年度)	2,202	66.8	46.4	0.0517	160.2
冷房 (2016 年度)	2,202	66.8	46.4	0.0517	160.2
暖房 (2013 年度)	1,571	10.5	44.0	0.0517	23.9
暖房 (2014 年度)	1,563	10.5	46.4	0.0517	25.2
暖房 (2015 年度)	1,559	10.4	46.4	0.0517	25.0
暖房 (2016 年度)	308	2.1	46.4	0.0517	5.0
EMBL	2,200	300.9			712.2

7.1.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は 0 である。

7.1.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM_{BL}	712.2 [t-CO2]
事業実施後排出量 (7.1)	EM_{Pj}	514.8 [t-CO2]
リークージ排出量 (7.3)	LE	0 [t-CO2]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	ER	197[t-CO2]

7.2 和歌山店

7.1.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房(2013年度)	2,140	26.3	44.0	0.0517	59.8
暖房(2013年度)	754	4.0	44.0	0.0517	9.1
EMPj		30.3			68.9

7.1.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房(2013年度)	2,140	34.2	44.0	0.0517	77.8
暖房(2013年度)	1,510	7.5	44.0	0.0517	17.1
EMBL		41.7			94.9

7.1.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は0である。

7.1.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EMBL</i>	94.9 [t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EMPj</i>	68.9 [t-CO ₂]
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	26 [t-CO₂]

	BL 排出量 (t CO ₂)	PJ 排出量 (t CO ₂)	排出削減量 (t CO ₂)
①住之江公園	712.2	514.8	197
②和歌山店	94.9	68.9	26
合計	807.1	583.7	223

8 省エネルギー量

①住之江公園店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
349.3	252.4	96.9

②和歌山店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
48.4	35.2	13.2

省エネ量 (合計) = 110.1 (kl)

9 再生可能エネルギー利用量

なし